

実習感想文



中西 宥介

今回の実習で特に印象に残ったのは、X線セミナーです。X線画像の原理や正常画像の読み方を、先生にたくさん質問をしていただき、班の全員で意見を出し合いながら、議論していくセミナーは非常に有意義な時間でした。普段の授業とは異なり、自分自身で考えることや、グループで話し合うことはとても新鮮でした。X線の読み方については、ただ単に覚えるのではなく、基本原理を学べば忘れにくく、今後のポリクリなどで画像を読影するときに役立つと思いました。また、結核のセミナーでは、結核の感染経路と病態、治療法について詳しく勉強できました。今まで忘れていたことや分かりにくかったところを理解し、知識として整理でき、とても有意義な時間となりました。和歌山病院は県で唯一の結核病棟があり、セミナー後の院内見学では病棟の入り口や廊下などの換気施設が整っているのを見学しました。実際に患者さんとお会いすることはできませんでしたが、普段のポリクリや病院見学では見られない設備を見学することができてよかったです。画像診断のセミナーでは、実際の患者さんのX線写真やCT画像を見ても、所見を読み取ることが難しく、もっと正常の画像と比較して考えなければいけないと実感しました。

今回の実習は、2日間という短い実習期間の中で、たくさんのセミナーもあり大変充実した2日間でした。最後になりましたが、受け入れてくださった南方院長先生、駿田副院長先生はじめ、和歌山病院の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。